

第2期末（2026年2月24日）

基準価額	10,288円
------	---------

純資産総額	224百万円
-------	--------

第1期～第2期 (2025年8月25日～2026年2月24日)

騰落率	2.9%
-----	------

分配金合計	0円
-------	----

(注) 騰落率は分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイ・インド株式オープン (3ヵ月決算型)

【愛称】ギフトシティの恵み

追加型投信／海外／株式

運用報告書（全体版）

作成対象期間：2025年8月25日～2026年2月24日

第1期（決算日 2025年11月25日）

第2期（決算日 2026年2月24日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ・インド株式オープン（3ヵ月決算型）」は、このたび第2期の決算を行いました。

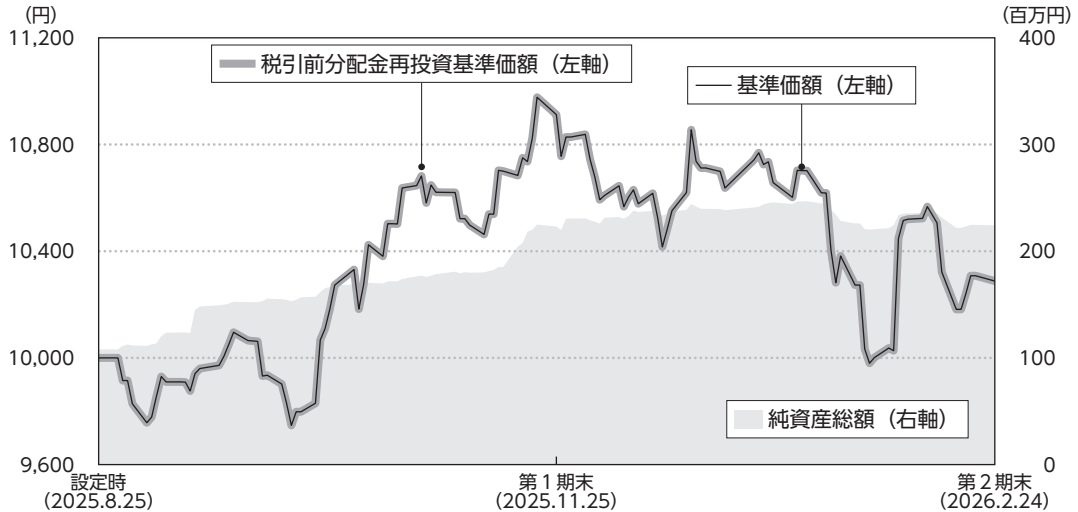
当ファンドは、「ニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）」への投資を通じて、Nifty50指数（配当込み）への連動をめざす上場投資信託証券（ETF）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2025年8月25日～2026年2月24日

基準価額等の推移



設定時	10,000円	既払分配金	0円
第2期末	10,288円	騰落率 (分配金再投資ベース)	2.9%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・10月上旬から下旬にかけて、米国との貿易交渉進展への期待などからインド株式市場が上昇したことや自民党総裁選で財政拡張・低金利政策志向と目される高市氏が選出されたことからインド・ルピー高円安となったこと
- ・2月上旬から当作成期末にかけて、米国との貿易交渉の進展が好感され、インド株式市場が上昇したこと

<下落要因>

- ・当作成期初から8月下旬にかけて、米国による関税引き上げが嫌気され、インド株式市場が下落したこと
- ・1月上旬から下旬にかけて、米国によるベネズエラへの軍事介入やグリーンランドを巡る米欧対立など、世界的に地政学リスクが高まったことやロシア産原油の扱いを主因とした米印貿易協定の不透明感などからインド株式市場が下落したこと

1 万口当たりの費用明細

項目	第 1 期～第 2 期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	42円	0.404%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,381円です。
（投信会社）	(16)	(0.150)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(25)	(0.238)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	(2)	(0.017)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	1	0.007	$\text{売買委託手数料} = \text{期中の売買委託手数料} / \text{期中の平均受益権口数}$
（投資信託証券）	(1)	(0.007)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
その他費用	0	0.000	$\text{その他費用} = \text{期中のその他費用} / \text{期中の平均受益権口数}$
（監査費用）	(0)	(0.000)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
合計	43	0.412	

（注 1）作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

（注 2）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

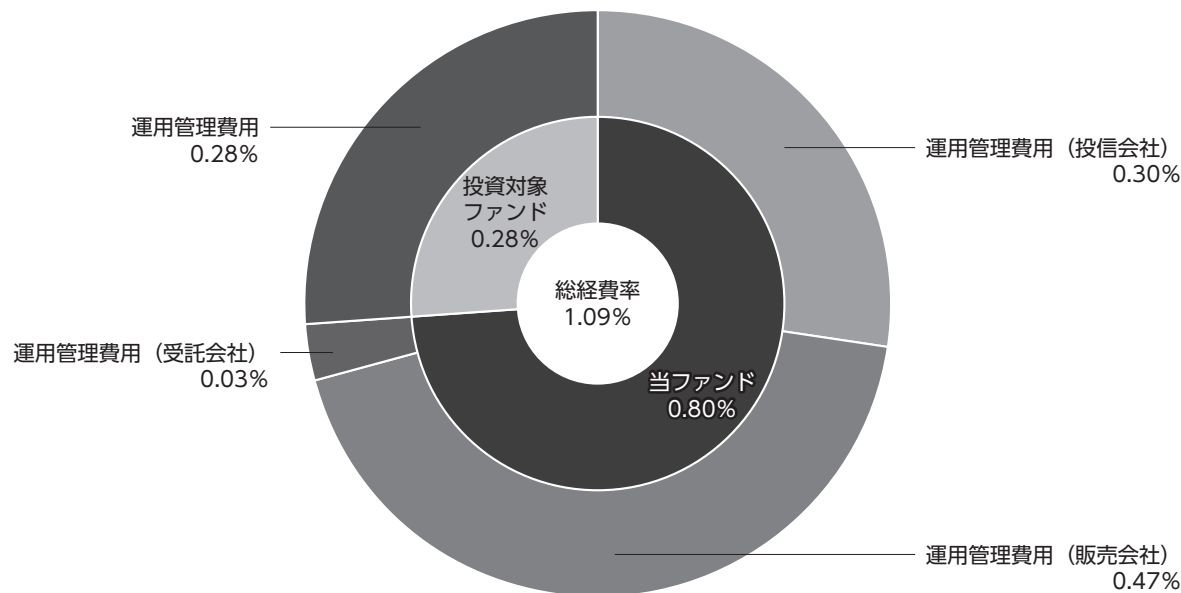
（注 3）比率欄は「1 万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入しています。

（注 4）各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

（参考情報）

■総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.09%**です。



経費率（①+②）	1.09%
①当ファンドの費用の比率	0.80%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.28%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

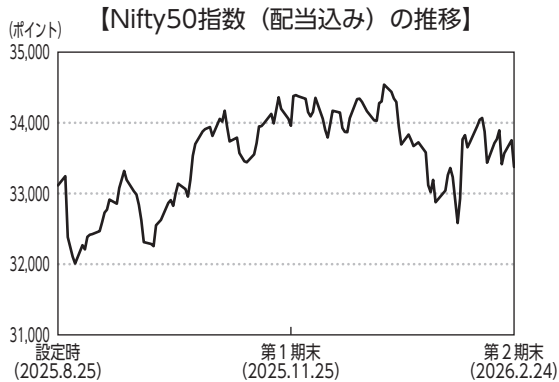
(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注8) 投資先ファンドである「ニッポン・インド ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）」（IFSC GIFT City籍外国投資信託証券）は2026年3月に初回決算を迎えるため、当ファンドの運用報告書作成時点において、当該投資先ファンドの総経費率は確定していません。そのため、当ファンドの総経費率（年率）の算出にあたっては、当該投資先ファンドの純資産総額を基に委託会社において推計した数値を使用して算出しています。

投資環境

■インド株式市況

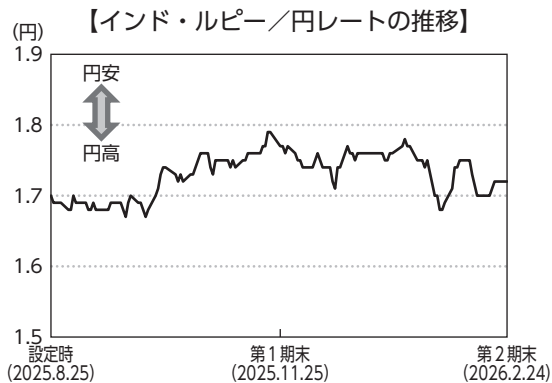


(注) ブルームバーグのデータを使用しています。

インド株式市場は、期を通じて見るとほぼ横ばいとなりました。

当作成期初から8月下旬にかけて、米国による関税引き上げが嫌気され、インド株式市場は下落しました。9月上旬から中旬にかけて、物品サービス税（GST）引き下げ期待などからインド株式市場は上昇に転じました。その後は一時的に下落しましたが、10月上旬から下旬にかけて、米国との貿易交渉進展への期待などから、インド株式市場は上昇しました。1月上旬から下旬にかけて、米国によるベネズエラへの軍事介入やグリーンランドを巡る米欧対立など世界的に地政学リスクが高まったことやロシア産原油の扱いを主因とした米印貿易協定の不透明感などから、インド株式市場は下落しました。その後、当作成期末にかけては米国との貿易交渉の進展が好感され、インド株式市場は上昇しました。

■為替市況



(注) 対顧客電信売相場仲値のデータを使用しています。

インド・ルピー／円レートは期を通じて見るとインド・ルピー高円安となりました。

当作成期初から9月下旬にかけて、インド・ルピーは対円ではほぼ横ばい推移しました。10月上旬から下旬にかけて、自民党総裁選で財政拡張・低金利政策志向と目される高市氏が選出されたことからインド・ルピー高円安となりました。その後、レンジ相場で推移しましたが、1月下旬に外国人投資家による資金流出の継続などからインド・ルピー安円高となりました。2月上旬には米印貿易交渉の進展を受け、インド・ルピー高円安となりました。その後、当作成期末にかけては地政学リスクの高まりなどからインド・ルピー安円高となりました。

ポートフォリオ

■当ファンド

ニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）への投資を通じて、Nifty50指数（配当込み）への連動をめざす上場投資信託証券（E T F）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

■ニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）

*ニッポンライフ・インディア・アセットマネジメントの資料（現地における前月末営業日基準）に基づき、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

Nifty50指数（配当込み）への連動をめざすE T Fを主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

1月末における業種配分については、組入比率の高い順に銀行（30.5%）、情報技術—ソフトウェア（10.8%）、石油製品（8.2%）としています。

（注1）業種はインド投資信託協会基準によるものです。以下同じです。

（注2）比率は対組入株式等評価額比です。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

当ファンドは、ニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

分配金

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案した結果、見送らせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第1期 2025年8月25日～2025年11月25日	第2期 2025年11月26日～2026年2月24日
当期分配金（税引前）	—	—
対基準価額比率	—	—
当期の収益	—	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	912円	790円

（注1）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

今後もニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）への投資を通じて、Nifty50指数（配当込み）への連動をめざす上場投資信託証券（E T F）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■ニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）

Nifty50指数（配当込み）への連動をめざすE T Fを主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

■組入ファンド

	第2期末 2026年2月24日
ニッポン・インド ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）	98.2%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

（注1）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

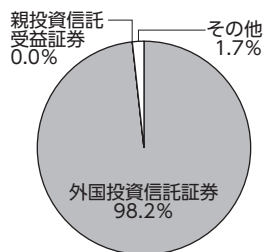
（注2）組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

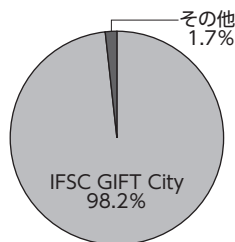
項目	第1期末 2025年11月25日	第2期末 2026年2月24日
純資産総額	223,086,237円	224,266,208円
受益権総口数	204,439,579口	217,987,300口
1万口当たり基準価額	10,912円	10,288円

（注）当作成期間（第1期～第2期）中における追加設定元本額は135,340,974円、同解約元本額は25,286,049円です。

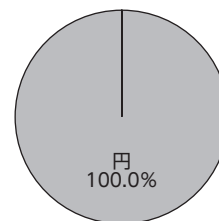
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



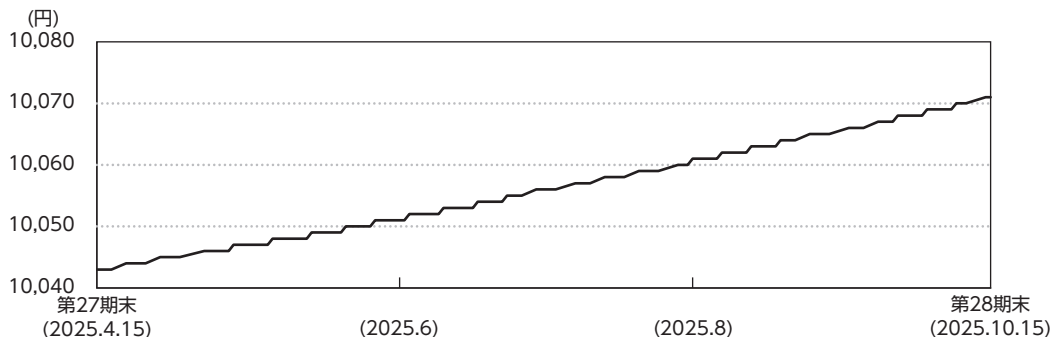
（注）資産別・国別・通貨別配分は、2026年2月24日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）の概要

「ニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）」（IFSC GIFT City籍外国投資信託証券）は2026年3月31日に初回決算を迎えるため、開示対象ファンドの運用報告書作成時点において監査済み財務諸表が存在しないことから、記載すべき情報はありません。

ニッセイマネーマーケットマザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



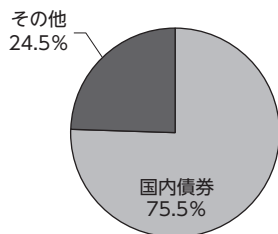
■ 上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
第160回 共同発行市場公募地方債	円	13.2%
第752回 東京都公募公債	円	9.7
第158回 共同発行市場公募地方債	円	8.8
第756回 東京都公募公債	円	8.8
平成28年度第5回 愛知県公募公債	円	8.8
平成28年度第1回 広島県公募公債	円	8.8
平成27年度第13回 京都府公募公債	円	8.7
令和2年度第3回 仙台市公募公債（5年）	円	4.4
平成27年度第1回 静岡市公募公債	円	4.2
組入銘柄数	9	

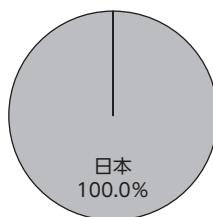
■ 1万口当たりの費用明細

当期（2025年4月16日～2025年10月15日）における費用はありません。

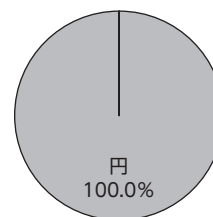
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2025年10月15日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額＋ 累計分配金	ニッポン・インド ETF Nifty 50 BeES GIFT (クラスDユニット)	債券 組入比率	純資産 総額
(設定日) 2025年8月25日	円 10,000	円 －	% －	円 10,000	% －	% －	百万円 107
1期 (2025年11月25日)	10,912	0	9.1	10,912	98.0	0.0	223
2期 (2026年2月24日)	10,288	0	△5.7	10,288	98.2	0.0	224

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。以下同じです。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額＋累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注5) 作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の決算期が当作成期です。以下同じです。

(注6) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当作成期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	ニッポン・インド ETF Nifty 50 BeES GIFT (クラスDユニット)	債券 組入比率
(設定日) 2025年8月25日	円 10,000	% －	% －	% －
第1期 8月末	9,828	△1.7	93.5	0.0
9月末	9,830	△1.7	98.2	0.0
10月末	10,621	6.2	97.2	0.0
(期末) 2025年11月25日	10,912	9.1	98.0	0.0
第2期 (期首) 2025年11月25日	10,912	－	98.0	0.0
11月末	10,828	△0.8	94.6	0.0
12月末	10,637	△2.5	98.4	0.0
2026年1月末	10,001	△8.3	98.3	0.0
(期末) 2026年2月24日	10,288	△5.7	98.2	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首（第1期は設定日）比です。

売買および取引の状況

2025年8月25日～2026年2月24日

(1) 投資信託証券

	第1期～第2期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
ニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）	千口 2,350	千円 240,330	千口 226	千円 23,450

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	第1期～第2期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 9	千円 10	千口 －	千円 －

利害関係人との取引状況等

2025年8月25日～2026年2月24日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2026年2月24日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	第2期末		
	口数	評価額	比率
ニッポン・インド ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）	千口 2,124	千円 220,331	% 98.2
合計	2,124	220,331	98.2

(注1) 比率は、当作成期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	第2期末	
	口数	評価額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 9	千円 10

(注) 当作成期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は4,670,829千口です。

投資信託財産の構成

2026年2月24日現在

項目	第2期末	
	評価額	比率
ニッポン・インド ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）	千円 220,331	% 98.0
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	4,393	2.0
投資信託財産総額	224,735	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年11月25日) (2026年2月24日)現在

項目	第1期末	第2期末
(A) 資産	223,958,613円	224,735,576円
コール・ローン等	4,214,033	4,393,828
ニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT (クラスDユニット)(評価額)	218,614,564	220,331,714
ニッセイマネーマーケット マザーファンド(評価額)	10,016	10,034
前払金	1,120,000	—
(B) 負債	872,376	469,368
未払解約金	544,952	—
未払信託報酬	327,018	468,769
その他未払費用	406	599
(C) 純資産総額(A - B)	223,086,237	224,266,208
元本	204,439,579	217,987,300
次期繰越損益金	18,646,658	6,278,908
(D) 受益権総口数	204,439,579口	217,987,300口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,912円	10,288円

(注) 設定元本額 107,932,375円
 当作成期中追加設定元本額 135,340,974円
 当作成期中一部解約元本額 25,286,049円

損益の状況

(第1期 2025年8月25日～2025年11月25日)
 (第2期 2025年11月26日～2026年2月24日)

項目	第1期	第2期
(A) 配当等収益	6,369円	7,810円
受取利息	6,369	7,810
(B) 有価証券売買損益	16,491,781	△12,023,821
売買益	16,614,715	1,083,211
売買損	△ 122,934	△13,107,032
(C) 信託報酬等	△ 327,424	△ 469,368
(D) 当期損益金(A + B + C)	16,170,726	△12,485,379
(E) 前期繰越損益金	—	14,633,632
(分配準備積立金) ()	(—)	(14,633,632)
(F) 追加信託差損益金*	2,475,932	4,130,655
(配当等相当額) ()	(—)	(2,608,622)
(売買損益相当額) ()	(2,475,932)	(1,522,033)
(G) 合計(D + E + F)	18,646,658	6,278,908
次期繰越損益金(G)	18,646,658	6,278,908
追加信託差損益金	2,475,932	4,130,655
(配当等相当額) ()	(—)	(2,608,622)
(売買損益相当額) ()	(2,475,932)	(1,522,033)
分配準備積立金	16,170,726	14,633,632
繰越欠損金	—	△12,485,379

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
 (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。
 (注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。
 (注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末（第1期は設定時）の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	第1期	第2期
(a) 経費控除後の配当等収益	6,238円	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	16,164,488円	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	2,475,932円	2,608,622円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	0円	14,633,632円
(e) 分配対象額(a + b + c + d)	18,646,658円	17,242,254円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	912.09円	790.98円
(g) 分配金	0円	0円
(h) 分配金(1万口当たり)	0円	0円

お知らせ

■ 自社による当ファンドの設定解約状況

当作成期 設定元本	当作成期 解約元本	第2期末残高			取引の理由
		元本	評価額	比率	
百万円 24	百万円 －	百万円 24	百万円 24	% 11.0	当初設定時における取得

（注）元本および評価額の単位未満は切り捨てています。なお当社は自社による当ファンドの保有分を解約することがあります。

運用者情報

■ 当社運用担当者情報について

- ・当社の運用担当者情報はHP上よりご確認ください。

■ ニッセイ・インド株式オープン（3ヵ月決算型）



https://www.nam.co.jp/fundinfo/niko_3/main.html

当ファンドの概要

商	品	分	類	追加型投信／海外／株式
信	託	期	間	無期限
運	用	方	針	外国投資信託証券への投資を通じて、Nifty50指数（配当込み）への連動をめざす上場投資信託証券（E T F）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。
主要運用対象	ニッセイ・インド株式オープン（3ヵ月決算型）			「ニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」
	ニッポン・インディア ETF Nifty 50 BeES GIFT（クラスDユニット）			上場投資信託証券（E T F）
	ニッセイマネーマーケットマザーファンド			円建ての短期公社債および短期金融商品
運	用	方	法	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。
分	配	方	針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託者の判断により、分配を行わないことがあります。

ニッセイマネーマーケット マザーファンド

運用報告書

第 28 期

(計算期間：2025年4月16日～2025年10月15日)

運用方針

- ① 円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。
- ② 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

主要運用 対象

円建ての短期公社債および短期金融商品

運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。
・ 外貨建資産への投資は行いません。



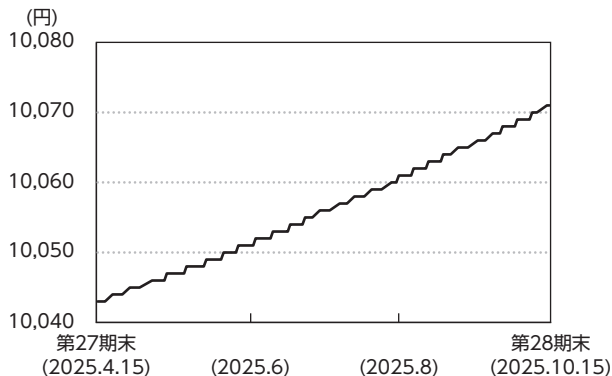
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2025年4月16日～2025年10月15日

基準価額等の推移



■基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・前期末以降、利子等収益等が積み上がったこと

(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

ポートフォリオ

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざして運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中	債券 組入比率	純資産 総額
		騰落率		
	円	%	%	百万円
24期 (2023年10月16日)	10,025	△0.0	82.1	720
25期 (2024年 4 月15日)	10,025	0.0	83.1	1,391
26期 (2024年10月15日)	10,028	0.0	92.2	1,375
27期 (2025年 4 月15日)	10,043	0.1	73.1	2,007
28期 (2025年10月15日)	10,071	0.3	75.5	2,053

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
	円	%	%
(期首)2025年 4 月15日	10,043	—	73.1
4 月末	10,045	0.0	73.4
5 月末	10,049	0.1	68.8
6 月末	10,053	0.1	78.2
7 月末	10,058	0.1	74.2
8 月末	10,063	0.2	88.3
9 月末	10,068	0.2	75.9
(期末)2025年10月15日	10,071	0.3	75.5

(注) 騰落率は期首比です。

1 万口当たりの費用明細

2025年4月16日～2025年10月15日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料	－円	－％	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	－	－	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合計	－	－	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,056円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2025年4月16日～2025年10月15日

公社債

		買付額	売付額
国内		千円	千円
	地方債証券	993,341	－
	特殊債券	－	(781,000)
			－
			(132,000)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2025年4月16日～2025年10月15日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
第160回 共同発行市場公募地方債	270,370	－	－
平成28年度第5回 愛知県公募公債	181,019		
第756回 東京都公募公債	181,017		
第158回 共同発行市場公募地方債	180,968		
平成28年度第1回 広島県公募公債	179,966		

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2025年10月15日現在

国内（邦貨建）公社債

区分	額面金額	評価額	組入比率	当期末 うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地方債証券	1,556,000 (1,556,000)	1,551,163 (1,551,163)	75.5 (75.5)	—	—	—	75.5 (75.5)
合計	1,556,000 (1,556,000)	1,551,163 (1,551,163)	75.5 (75.5)	—	—	—	75.5 (75.5)

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ()内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

(国内公社債の内訳)

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%		千円	千円
地方債証券	第752回 東京都公募公債	0.1260	2025/12/19	200,000	199,827
	第756回 東京都公募公債	0.0500	2026/ 6 /19	182,000	181,321
	平成27年度第13回 京都府公募公債	0.1100	2026/ 3 /17	180,000	179,556
	平成28年度第5回 愛知県公募公債	0.0700	2026/ 6 /29	182,000	181,287
	平成28年度第1回 広島県公募公債	0.0800	2026/ 5 /25	181,000	180,366
	第158回 共同発行市場公募地方債	0.0800	2026/ 5 /25	182,000	181,352
	第160回 共同発行市場公募地方債	0.0500	2026/ 7 /24	272,000	270,636
	平成27年度第1回 静岡市公募公債	0.4760	2025/11/25	87,000	86,994
	令和2年度第3回 仙台市公募公債(5年)	0.0100	2026/ 1 /28	90,000	89,818
	合計	—	—	—	1,551,163

投資信託財産の構成

2025年10月15日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	1,551,163	75.4
コール・ローン等、その他	507,237	24.6
投資信託財産総額	2,058,400	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

ニッセイマネーマーケットマザーファンド

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年10月15日現在)

項目	当期末
(A)資産	2,058,400,655円
コール・ローン等	506,876,504
公社債(評価額)	1,551,163,528
未収利息	353,405
前払費用	7,218
(B)負債	5,213,812
未払解約金	5,213,812
(C)純資産総額(A-B)	2,053,186,843
元本	2,038,753,014
次期繰越損益金	14,433,829
(D)受益権総口数	2,038,753,014口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,071円

(注1) 期首元本額 1,998,869,660円
 期中追加設定元本額 267,722,944円
 期中一部解約元本額 227,839,590円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイグローバル好配当株式プラス(毎月決算型)	10,000円
ニッセイマネーマーケットファンド(適格機関投資家限定)	49,839,665円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	9,994円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
J P X日経400アクティブ・オープンミドル投資型	9,976円
J P X日経400アクティブ・プレミアム・オープン(毎月決算型)	9,976円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(毎月決算型)	9,974円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(年2回決算型)	9,974円
ニッセイA I 関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	9,967円
ニッセイA I 関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	9,967円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(資産成長型)	9,968円
D Cニッセイターゲットデットファンド2025	1,988,524,484円
ニッセイ/コムジェスト新興国成長株ファンド(資産成長型)	9,969円
ニッセイ/コムジェスト新興国成長株ファンド(年2回決算型)	9,969円
ニッセイA I 関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイA I 関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュローダー・グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	9,970円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド(予想分配金提示型)	9,972円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド(資産成長型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド(予想分配金提示型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド(資産成長型)	9,972円
ニッセイ/シュローダー好回りCBファンド2023-02(為替ヘッジあり・固定割当)	9,974円
固定割当・繰上償還型ニッセイ世界カリ・株式厳選ファンド2023-07(為替ヘッジあり)	9,975円
ニッセイ・マルチアセット・インカム戦略ファンド(資産成長型)	9,975円
ニッセイ・マルチアセット・インカム戦略ファンド(毎月決算型)	9,975円
ニッセイS & P 500リカバリー戦略株式ファンド	9,973円
ニッセイ・インド中小型株式ファンド	9,969円
ニッセイ・インド株式ファンド<購入・換金手数料なし>	9,964円
ニッセイ・インド株式オープン(資産成長型)	9,939円
ニッセイ・インド株式オープン(3ヵ月決算型)	9,939円
ニッセイ/シュローダー好回りCBファンド2025-09(為替ヘッジなし・固定割当)	9,934円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジなし)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,968円

損益の状況

当期(2025年4月16日～2025年10月15日)

項目	当期
(A)配当等収益	2,620,101円
受取利息	2,620,101
(B)有価証券売買損益	3,025,245
売買取損	3,340,413
△	315,168
(C)当期損益金(A+B)	5,645,346
(D)前期繰越損益金	8,595,717
(E)追加信託差損益金	1,494,711
(F)解約差損益金	△ 1,301,945
(G)合計(C+D+E+F)	14,433,829
次期繰越損益金(G)	14,433,829

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (E)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (F)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。